

印刷産業機械・周辺機器 メンテナンスのお願い

機器・部材には耐用年数があります

一定期間使用経過した機器・部材については、性能劣化や故障が避けられません。機械故障した後の事後メンテナンスは、機械停止時間が増大し、機会損失を被ると同時に、一般的に修理に係るコストを増大させる結果となります。周辺機器・部材に固有の想定される耐用年数をご理解いただき、オーバーホールや交換の時期を事前にご計画いただくか、予備品の購入をご計画ください。



裏面に、主要機器・部材のオーバーホール・交換の目安を作成しましたので、ご参照ください。▶▶

「定期点検・保守契約」をお願いします



印刷産業機械には、数多くの周辺機器やローラ等の部材が使われています。機械の安定稼働には、それらの周辺機器・部材のメンテナンスも本機同様大変重要となります。機械の性能を維持するには、日常の点検、メンテナンスの実施に加えて、定期的な保守点検が必要です。



確実かつタイムリーな保守を実施するため、各製造メーカーと「定期点検・保守契約」を結んでいただくようお願いいたします。

サービス提供時間内での対応にご理解を

働き方改革や人材の採用難等の社会的背景もあり、時間外・休日の保守受け・対応については、サービス対応を行っていない会社も多くあります。各社の提供するサービス内容を確認いただき、対応可能なサービス時間内での保守受け・対応にご理解をお願いいたします。また、時間外・休日の保守サービスには、所定の割増料金が発生することをご承知ください。突発的な故障による機械停止を避けるためには、定期的な保守点検の実施や予備品の準備をしていただくようお願いいたします。



詳細は、各製造メーカーにご相談ください。

【一般社団法人日本印刷産業機械工業会 周辺機器部会】

アイグラフィックス(株)
(株)インワ・フーパースイフト
AJC(株)
春日電機(株)
(株)加貫ローラ製作所
(株)金陽社
(株)コスモテック

ジェーピーイー(株)
ジクス(株)
(株)芝橋
ダックエンジニアリング(株)
(株)塚谷刃物製作所
東京給紙機(株)
東京計器(株)

東邦精機(株)
(株)富田技研
ニッカ(株)
日本ボールドウィン(株)
ハイニックス(株)
(株)ハママツ
富士機械工販(株)

ベッカーエアーテクノ(株)
松本機械製作(株)
マルカキカイ(株)
(株)ミューテック
明和ゴム工業(株)
(アイウエオ順に掲載)

印刷周辺機器の オーバーホール・交換の目安について

- 予防保全の計画の目安として、一般的な使用状態でのオーバーホール・交換の目安を示すものです。
- 日常点検、定期点検・保守の適正な実施が前提となります。
- 実際には、製造メーカーの提供する取扱説明書等の記載が優先されます。
- 詳細は、各製造メーカーにお問い合わせください。



分類	名称	耐用年数*(目安)	備考
1. 装置			
電装品		5~8年	
	制御装置		使用環境等によっては3~5年
	電源装置		使用環境等によっては3~5年
	操作パネル モーター類等		
冷却・水装置関係		5年	フィルタ類を除く
	湿し水装置		
	水・空冷却装置		
	ローラ温調装置 ろ過装置等		
計測器関係	濃度計・色彩計	3~10年	校正:毎々が原則 オーバーホール校正:2年に1回
UV・IR照射装置		3~5年	ランプを除く
2. その他主要部材			
ケーブル・配管類	ケーブル類	8~10年	可動ケーブルは3~5年
	配管部材	6~8年	
	摺動部品	5年	使用頻度により変動
	ゴム・パッキン類	3~5年	使用頻度により変動 インキ計量装置の場合、 ノズル部パッキンは短いものでは1年程度
ゴムローラ	油性インキ用	2~3年	製品タイプによっては1年程度 摺動系部材が 良好に維持 されていること
	UVインキ用(樹脂系)	1年	
	UVインキ用(NBR系)	1.5年	
	給水ローラ(油性・UV)	0.5年	

*1年は2,500時間を想定、稼働状況によっては耐用年数は変動します。